



xFT Instruction Manual

xFT Instruction Manual

エクスエフティー インストラクション マニュアル

目次	P1
各部・パーツの名称	P2
テクノロジーの説明	P3
フェースの交換方法(取り外し・取り付け)について	P4
損傷とケガを防ぐために	P5
安全にお使いいただくために	P6
注記	P7
別売りパーツ	P8

※本マニュアル内に使用されている写真はイメージです。実際の商品とは多少異なる場合があります。

各部・パーツの名称



WEDGES
WITH **XFT**

40ポンド
トルクレンチ (白色)
(別売り)

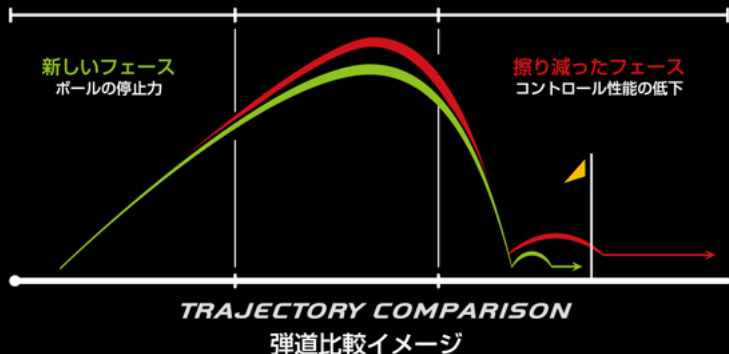
ボディ

xFTスクリュー

ポケット

xFTフェース





エクステンジャブル・フェース・テクノロジー (xFT: エックスエフティー) は常に真新しいフェースに付け替えることでウェッジの機能を最適に保ちます。

- フェースの溝はボールや土などの接触により使用頻度に応じすり減っていきます。その結果スピンとコントロール性能が失われていくため、ツアープロは使用頻度に応じ定期的にウェッジを交換しています。
- xFTはすり減ったフェースを真新しいフェースに交換することによって、失われたスピン性能を取り戻すことが可能です。
- 新しいフェースの装着は、テラーメイドオリジナルの40ポンドトルクレンチ(白色)を使用し、ヘッドの後にあるXFTスクリューを緩めて締め直すだけで交換できます。

※弾道比較図はイメージです。

フェースの交換方法(取り外し・取り付け)について

ケガを防止するため、交換(取り外し、取り付け)作業を行う際は、クラブヘッドを写真の様にしっかりと持ちグリップエンドを地面に着け慎重に作業を行ってください。

取り外し方

xFTフェースを交換する際は、40バンドトルクレンチ(白色)の先をバックフェースにあるxFTスクリューの星型の穴形状に合わせて真っ直ぐ差し込み、片手でトルクレンチをしっかりと持ち、もう一方の手でクラブヘッドを写真の様にしっかりと持って、2本のxFTスクリューを時計回りとは逆に回転させて緩めてください。それぞれ約5回転ほどで緩みます。



xFTスクリューを緩めると自然にxFTフェースが外れますので落ちないように注意して作業を行ってください。5回転ほど緩めてもフェースが外れない場合は、バックフェースにあるポケットからxFTフェースを指で軽く押してxFTフェースをボディから離します。それでもなお、ボディからxFTフェースが外れない場合はxFTスクリューが完全に緩みきっていないことが考えられます。再度、時計回りとは逆にxFTスクリューを数回まわしてからxFTフェースを取り外してください。



取り付け方

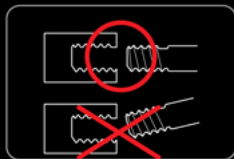
装着するxFTフェースをボディのフェース面側にある装着スペース形状に合わせ、ボディに押し付けながらトルクレンチを用いて2本のxFTスクリューを時計回りに回転させxFTフェースを取り付けてください。xFTスクリューが完全に締め付けられたことを知らせるトルクレンチのカチッという音が聞こえるまでしっかりと締め付けてください。



*MW7TM用トルクレンチ(イエロー、シルバー)はxFTスクリューの締め付けに必要なトルク量は配分できませんので、xFTをご利用の際は必ず40バンドトルクレンチ(白色)をご使用ください。

重要: xFTスクリューとxFTフェースの損傷とケガを防ぐため、以下の点を守ってください。

取り付け作業前に、xFTスクリューのネジ山とxFTフェースのネジ溝が真っ直ぐにそろっていることを確認してください。この確認を怠ると個々のあるいはそれぞれのネジ山やネジ溝に損傷が生じる可能性があります。その結果各パーツの取り外しや取り付けができなくなります。



取り外し、取り付け中は、トルクレンチの先がxFTスクリューの星型の穴形状に完全に、そして真っ直ぐとしっかり挿入されていることを確認してください。真っ直ぐとしっかり挿入されていない場合は、xFTスクリューの星型の穴形状を損傷する事があります。また、作業中のケガを防止するため、交換(取り外し、取り付け)作業を行う際はクラブヘッドを写真の様にしっかりと持ちグリップエンドを地面に着け慎重に作業を行ってください。



取り付け中、xFTスクリューが完全に締め付けられたことを知らせるトルクレンチのカチッという音が聞こえたら締め付け作業を止めてください。



xFTスクリューの星型の穴形状やその他のパーツを損傷する恐れがありますので、テラーメイド社製の40パウンドトルクレンチ(白色)以外の器具による取り外しや取り付け作業を行わないでください。



プレーまたは練習の前には毎回、クラブヘッドを注意深く点検し、xFTフェースが2本のxFTスクリューで正しく装着されていることをご確認ください。xFTフェースが2本のxFTスクリューでボディに正しく装着されていない限り、コースを回ったり、ドライビングレンジで練習したり、スイングを試したりしないでください。これらが守られない場合、次のような状況を引き起こす可能性があります。

- ①土、ほこり、湿気、異物などがxFTフェース、ボディ内部のネジ穴の隙間に入り込むことがあります。これらはネジやパーツを損傷する可能性があります、xFTフェースの交換を困難あるいは不可能にします。場合によっては、クラブの性能に悪影響を与える恐れがあります。
- ②xFTフェースが2本のxFTスクリューでボディに正しく装着されていない場合、スイングの最中にxFTフェースやxFTスクリューが外れる可能性があり、ご自分や周りの人が負傷する恐れがあります。

- ① xFTフェースの取り外しは、xFTフェースの交換をする場合のみ行ってください。それ以外の場合は、ネジ穴への異物や液体の侵入を防ぐため、クラブ保管時も含めて常時、xFTフェースをボディに装着したままにしておいてください。
- ② xFTフェースの取り外しと取り付けは、異物がxFTフェースのネジ穴やポケットに侵入したり、xFTスクリューのネジ山に詰まったりしないよう、清潔な場所で行ってください。
- ③ 濡れたり汚れたxFTフェースやxFTスクリューはそのまま装着せずに、やわらかい乾いた布等で拭きとり、異物を全て取り除いてからご使用ください。
- ④ xFTフェースのネジ穴の中に異物が入った場合、ネジ穴が下を向くように持ち、やわらかい乾いた布等で取り除いてください。
- ⑤ xFTフェースのネジ溝、また、xFTスクリューのネジ山には、いかなる種類の潤滑剤も使用しないでください。潤滑剤が必要とされることはありません。
- ⑥ xFTフェース及びxFTスクリューは、研磨したり、やすりにかけたりするなどのいかなる改造、変更も決して行わないでください。完全な装着が妨げられる可能性が生じ、その結果、xFTフェースやxFTスクリューがスイングの最中に外れ、ご自分や周りの人が負傷する恐れがあります。

ラウンド中にxFTフェースの交換を行わないでください。

- ① テーラーメイドのxFTフェースの変更ができる製品は、米国のUSGAおよび英国のR&Aによる「ゴルフ規則」を遵守しています。しかし、ラウンド中におけるxFTフェースの変更をする行為は、規則第4条2a項「正規のラウンド中、クラブの性能は調節その他の方法により故意に変更してはならない。」という規定に抵触し、ゴルフ規則の遵守不履行とみなされます。
- ② 穴のあいたクラブヘッドは、USGAとR&Aによる「ゴルフ規則」の遵守不履行とみなされます。附則第II条4a項には以下のように規定されています。:「クラブヘッドの形状は大体において単純なものでなければならない。また、そのすべての部分は堅牢 (rigid) で、ヘッドの実質的な構成部分であるとともに、機能的でなければならない。単純な形状についてはこれを正確に、しかも包括的に定義づけることは困難であるが、単純な形状の要件に反するものとみなされ、したがって規則上許されないものの例として、(a)クラブヘッドを貫き通っている穴が含まれる。」

2010年1月1日以降新しい溝の規則が施行されています。
詳しくはJGAホームページもしくは弊社ホームページをご確認ください。

別売りパーツ(フェース・トルクレンチ)の紹介

ZTPフェース



(赤・2010年新しい溝の規則に適合)

Zフェース



期間限定
販売

(黒・2010年新しい溝の規則に不適合)

トルクレンチ



40バウンドトルクレンチ(白色)

Zフェースについて

Zフェースは期間限定の販売となります。2010年1月1日から新しい溝の規則が施行されていますが、公式競技等に参加されない一般のゴルファーの方は引き続き2024年まで適合クラブとしてご使用いただけます。詳しくはJGAホームページをご確認ください。



japan.taylormadegolf.com

Customer Service Center 商品に関するお問い合わせは、下記フリーダイヤルまで
カスタマーサービスコール 0120-558-562・10:00～18:00(月～金) ※祝日除く